

2026年4月24日（第1.1版）

リハビリテーション科に過去に通院又は入院された

患者さんまたはご家族の方へ

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名]

Rivermead Behavioural Memory Test を用いた日常生活記憶の認知機能構造に関する構造方程式モデリング研究

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究責任者所属・氏名] 北海道大学病院リハビリテーション科 教授 向野 雅彦

[研究の目的]

Rivermead Behavioural Memory Test（リバーミード行動記憶検査：RBMT）は、顔を覚える、約束を思い出す、持ち物を忘れないといった、日常生活の中で必要となる記憶の働きを評価する神経心理学的検査です。この検査は、主に頭部外傷、脳卒中、脳腫瘍などの脳の病気やけがの後にみられる記憶障害を評価する目的で、リハビリテーションの過程で実施されることがあります。一方で、日常生活の記憶には、単なる記憶力だけでなく、注意力や遂行機能など、さまざまな認知機能が関係している可能性が指摘されています。本研究では、RBMTの結果と他の神経心理学的検査の結果との関係を統計的手法を用いて分析することで、日常生活の記憶にどのような認知機能が関係しているのかを明らかにし、記憶障害の理解を深めるとともに、今後のリハビリテーションの発展に役立てることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2001年4月1日から2026年2月28日までの間に、当院の主にリハビリテーション科を受診し、頭部外傷、脳血管障害、脳腫瘍、低酸素脳症などの中樞神経系疾患の患者さんで作業療法を受けた方。

○利用する情報

*2026年2月28日までのカルテ情報を収集します。

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、診療科、入院・外来区分、検査結果（RBMT、その他の注意・記憶・遂行機能等の認知機能検査）

[研究実施期間]

実施許可日(情報の利用開始：2026年5月頃)～2031年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりました

い場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができません。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院リハビリテーション部 担当者 小川 圭太

電話 011-706-5740 FAX 011-706-7626